

9がっひかりごう

令和 7 年9月1日 輝 保 育 園

楽しかったプール遊びが終わり、大きいクラスでは運動会の練習が始まっています。楽しい、もっとしたい、疲れた、上手くできない等、色々な思いを感じながら、練習に取り組み、一回り成長した姿を見るのが楽しみです。

これから少しずつ、朝夕涼しい日が出てきます。半袖から長袖へと着用するものが変わる時期です。衣服への記名や、衣服サイズの確認等も再度お願いいたします。 戸外遊びも始まります。靴のサイズ、記名のご確認もお願いいたします。

《 秋祭り 》

皆が楽しみにしているお祭りです。

日時 9月20日（土）

16：00～18：00

場所 輝保育園 運動場

綿菓子、ポップコーン、かき氷、くじ引きなど、いろいろ準備しています。



=== ナース・レポート ===

【新型コロナ「ニンバス株」に
ご注意ください】

最近、連日ニュースでも報道されているように新型コロナの感染が急増しており、特に「ニンバス株」と呼ばれる変異株が流行しています。この株は「カミソリの刃を飲み込むような強いどの痛み」が特徴で、唾を飲み込むだけでも痛みを感じる方が多いそうです。

（関西医科大学 宮下教授より）
8/20 FNNプライムオンラインより抜粋

保育園は集団生活の場です。感染を拡大しないためにも、お子さまの様子を普段と違う変化が見られた場合はお知らせください。発熱やどの痛み、咳、鼻水などの症状がある際は、無理をせず、できるだけ早めに受診していただきますようお願いいたします。



《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起きをし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭生活 ☆☆

～ 親離れ・子離れ（依存と自立）2 ～
乳幼児期：親が十分に、子どもの甘えを受け入れることが大切です。

子どもが親離れし、自立した大人へと導くためには、乳幼児期に親がしっかりと、甘えさせてあげることが重要になってきます。自分の希望がすべて受け入れられる、望んだことが満たされることを十分経験させることで、子どもたちは「自分は愛されている、価値ある存在なのだ」と実感します。

この親子の「基本的信頼感」がなければ、自立への第一歩が踏み出せません。

保育園や幼稚園に通い始めのころ、親元を離れる不安から泣き出す子どもを見かけられたことはないでしょうか。

しかし、泣いていた子ども数日通うようになると、握っていた親の手を放し、自分から通えるようになるはずです。

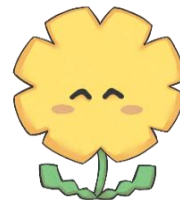
このような姿は、しっかり甘えさせ、基本的信頼感を築けた証なのかもしれません。ここで大事にしたいことは、「甘やかす」、「甘えさせる」ことの違いを親がしっかり理解することです。

「甘えさせる」とは、子どもにとって必要な要求に応えることであり、必要か不必要かは、親が判断することが重要です。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

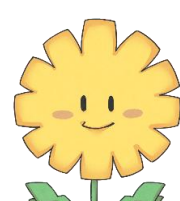
こどもたちのようす

たんぽぽぐみ
0才児



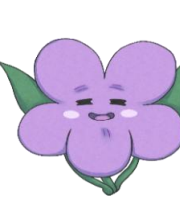
つかまり立ち、伝い歩き、ハイハイや一人歩きなど活発に動き回る姿が多くなりました。それぞれ入園当初にはまだまだ緊張の面持ちでゆっくりハイハイ、つかまり立ちもスムーズにいかずハラハラして見守っていましたが、今では伝い歩きでお部屋を1周したり、高速ハイハイで自由に動き回っています。つかまり立ちも伝い歩きも随分とスムーズになりました。また、歩き始めたお友だちは、「歩きたい」気持ちが強くなり両手を広げ立ち上がったことを知らせると「行くよ」と言わんばかりの声を上げ1歩、2歩と進んでいきます。お友だちが立ち上がった様子や歩いている様子を見て「僕も！私も！」と気持ちが高ぶり一緒に立ち上がることも多くなり、一緒に隣を歩こうとする姿もよく見られます。それぞれにあつという間の成長に日々驚く事ばかりの0才児さんです。

たんぽぽぐみ
1才児



水遊び前後や給食後の着替えを自分でしようとする子が増えてきました。上手いかならずに泣いてしまったり、「出来ない」と保育者に訴えたり、黙々とチャレンジしたり、それぞれのやり方で頑張っています。1歳半過ぎた子たちも保育者が少し援助すると、自分で洋服を着ることが出来たり、自分でしたい気持ちもあり、一人でやろうとする子も出てきました。この時期が、身辺自立の獲得、上達のチャンスです。時間はかかりますが、見守ったり、さりげなく手伝ったりすることで、自分で出来たという自信に繋がり、身辺自立へと繋がっていきます。その反面、甘えて「手伝って」ということもあります。そのときは、思いを受け止め、一緒にしています。ご家庭でも見守ったり、さりげなく手伝ったりしながら、出来たときに一緒に喜んであげてください。

すみれぐみ
2才児



生活の中で、友だちや保育士との言葉のやり取りを楽しんでいます。悲しい気持ちや、嬉しい気持ちと、様々な自分の思いを言葉にして伝えることも上手になってきました。最近では、「一緒に遊ぼう」という言葉がよく聞かれるようになり、友だちと関わりながら遊ぶ姿も出てきました。自分の思いが、相手に伝わる喜びを感じる一方で、うまく伝わらなかったり、思い通りにならないもどかしさから、手が出てしまうこともまだまだあります。保育士が仲立ちとなりながら、言葉での伝え方、お互いの思いを代弁することで、他者の存在や思いに気づき、受け入れることができるようになってきました。自己主張しながらも、譲り合いや、順番を守ることなど社会性を身に着け、「一緒に楽しい！」と感ずることが出来る経験を積み重ねていきます。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



プール活動では、「今日プールする？」と楽しみにしていた子ども達。最初は苦手で立ったままだった子ども、次第に他の子たちと同じように水面に口をつけてブクブクしたり、腹ばいになり手で進みながら輪をくぐったりできるようになりました。着脱の機会も増え、自分で着るときに服の首元の形から前後を確認して着る姿もみられます。身の回りのできることも増え、自分でしようという気持ちにも繋がっているようです。9月は運動会に向けた活動も増えていきます。友だちや保育者と一緒に体を動かす楽しさを感じられるように取り組んでいきます。まだまだ暑い日が続く活動も増えますので、水分や休息をとり体調に気を付けて過ごしていきます。

ばらぐみ
4才児



「聞く態度を身につける事」また、「話し手に注意を向け集中して聞き取り、内容を理解する事」を課題として位置づけ、さまざまな活動を通し取り組んでいます。サークルトークや自己紹介、折り紙活動やなぞなぞに加え、先月から新たに「素話：すばなし」を取り入れました。素話とは絵本や紙芝居などを使わず、言葉だけで物語を語り聞かせる方法です。視覚的情報に頼らないため話し手の言葉を注意深く聞く力が必要で、集中力を養うのにぴったりの活動です。言葉に抑揚をつけ感情たっぷりに話す事で、物語の情景を思い描き想像力が豊かにもなります。ハラハラドキドキするような場面では表情が変わり「怖かった」「かわいそう」など登場人物の心情に共感する事もあります。お話の世界を楽しむと同時に、聞き取る力が伸びていくことを期待しています。

ひまわりぐみ
5才児



先日、ばら組の子ども達に合奏を聞いてもらう機会がありました。まず始まる前に姿勢を褒めてもらい、気合いが十分高まった状態で合奏を始め、最後まで集中した姿を見てもらうことができました。合奏を終えてから、ばら組の子ども達に「かっこよかった」「感動した」と言ってもらい、とても嬉しそうな表情で「また見てもらいたいね」と話し、自信に繋がりました。これから肩から楽器を掛けて隊形移動の練習も始めていきます。そして、遊戯にも取り組み始めました。振りを覚える早さにはとても驚かされます。音楽の速さや移動の難しさを感じていますが、「先生こう？」「もう一回しよう」と言って挑戦しようとする姿が見られます。難しさを乗り越え、みんなで音楽に合わせて踊ったり、一つのことに取り組んだりする楽しさを感じてほしいと願っています。